

株主メモ

1. 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
2. 基準日 毎年3月31日（中間基準日 9月30日）
（そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。）
3. 定時株主総会 毎年6月下旬
4. 公告の方法 電子公告の方法により行います。
但し、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL <http://www.nagahori.co.jp/>
※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

5. 株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（フリーダイヤル） （土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・ 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・ 特別口座から一般口座への振替請求 ・ 単元未満株式の買取請求 ・ 住所、氏名等のご変更 ・ 特別口座の残高照会 ・ 配当金の受領方法の指定（*）	特別口座 の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（フリーダイヤル） （土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	

（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

6. 1単元の株式の数 100株

ウェブサイトのご紹介

www.nagahori.co.jp

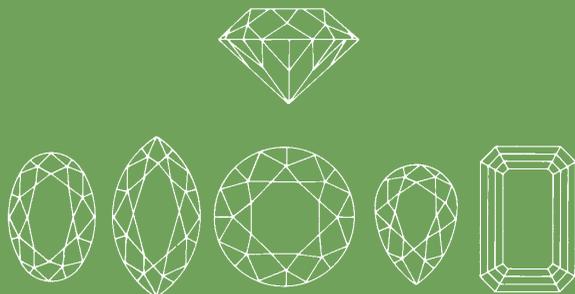
右記ウェブサイトでは最新情報をお届けしております。



第59期

事業報告書

平成31年4月1日～令和2年3月31日



NAGAHORI CORPORATION
www.nagahori.co.jp

株式会社 ナガホリ

www.nagahori.co.jp

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第59期（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

1. 経営成績

当期における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善による消費に底堅さは継続していたとみられたものの、米中貿易摩擦や中国景気減速等の懸念に加え、昨年10月の消費税率引き上げ以降、増税前の駆け込み需要の反動等により個人消費の動きは弱く、加えて新型コロナウイルスによる影響の深刻化は訪日客の減少にとどまらず世界経済全体に大きな影響を与え、国内景気においてもマイナス成長に転ずる懸念が強まっております。

ジュエリー業界におきましても第3四半期以降の、消費税の増税、天候要因などのマイナスの影響に加え、特に第4四半期の新型コロナウイルス拡散防止措置に伴う主要取引先の休業や販売催事の中止等、さらに厳しい事業環境となっております。

このような環境の下、当社グループは、引き続き富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドを投入する方針のもと、広告展開や自社催事、顧客催事での積極的な販売活動とともに、好調な東京オリンピックに関連した商品販売等に注力しました。また、子会社での金地金製品の販売も堅調に推移しました。

期初より消費税増税を控えて臨んだ上半期は見通し通り販売増、増益を達成しましたが、下半期では消費税増税前の駆け込み需要の反動減や台風などの影響、さらに新型コロナウイルスの影響により催事等が中止になるなど当社がかつて経験したことのない事態となりました。この結果、売上高は当初予想を若干上回る結果となりましたが、宝飾事業の厳しい競争環境もあり、利益率の高い商品販売が伸びなかったこと等により売上総利益率が予想に届かず、営業利益、経常利益ともに当初予想を下回る結果となりました。また、宝飾事業では、百貨店店舗、小売店舗ごとに、営業状況を見極め、苦戦が続いているものについては厳格に見直しを実施し、固定資産の減損処理を実施することとなりました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は206億90百万円（前期比3.1%増加）、営業利益は1億7百万円（同37.2%増加）、経常利益は55百万円（同17.1%増加）、減損損失28百万円および貸倒引当金繰入額31百万円等を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は1億4百万円（前期 親会社株主に帰属する当期純損失1億33百万円）となりました。

2. 配当について

当社は、株主の皆様に対し安定した配当を継続して行うことを配当の基本方針としておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大による見通しの不透明さから、当期は期末配当として1株当たり5円の普通配当とさせていただきます。

3. 今後の見通し

国内外において、新型コロナウイルスによる影響の深刻化により国内景気がマイナス成長に転ずる懸念が強まっているなか、ジュエリー業界におきましても、催事等の開催など営業展開への影響や、富裕層の消費動向がどのような影響を受けるか、また、全体的な消費者の動向も全く不透明な状況にあります。

当社におきましても、引き続き百貨店店舗、小売店舗の休業や自社催事、顧客催事等の中止など、かつて経験したことのない事態が続いており、今後の影響が見通せない状況にあります。

こうした状況を踏まえ、現時点では業績に与える不確定要素が多く、連結業績予想を合理的に算定することが困難と判断したことから、令和3年3月期の連結業績予想については未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

以上、業績の概況につきましてご報告申し上げましたが、株主の皆様のご要望、ご期待に沿えるよう努力してまいりますので、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年6月



代表取締役
社長

長堀慶太

連結財務諸表

連結貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	16,908,795	流動負債	10,119,142
現金及び預金	2,232,942	支払手形及び買掛金	976,440
受取手形及び売掛金	2,710,482	短期借入金	7,998,000
商品及び製品	10,819,189	1年内返済予定の長期借入金	565,504
仕掛品	263,552	未払法人税等	105,026
原材料及び貯蔵品	773,928	賞与引当金	73,296
その他	137,520	役員賞与引当金	3,500
貸倒引当金	△28,820	その他	397,374
固定資産	7,191,177	固定負債	1,686,350
有形固定資産	5,534,788	長期借入金	593,888
建物及び構築物	1,645,014	退職給付に係る負債	624,881
機械装置及び運搬具	221,102	役員退職慰労引当金	172,710
土地	3,336,468	繰延税金負債	—
その他	332,202	再評価に係る繰延税金負債	48,841
無形固定資産	53,469	その他	246,028
投資その他の資産	1,602,919	負債合計	11,805,492
投資有価証券	655,504	純資産の部	
長期貸付金	20,385	株主資本	13,192,045
繰延税金資産	126,224	資本金	5,323,965
その他	968,078	資本剰余金	6,275,173
貸倒引当金	△167,273	利益剰余金	2,074,332
		自己株式	△481,425
		その他の包括利益累計額	△897,564
		₁ 他有価証券評価差額金	△59,263
		₂ 土地再評価差額金	△853,614
		₃ 為替換算調整勘定	15,312
		純資産合計	12,294,480
資産合計	24,099,973	負債純資産合計	24,099,973

連結損益計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	金額
売上高	20,690,532
売上原価	15,044,526
売上総利益	5,646,005
販売費及び一般管理費	5,538,830
営業利益	107,175
営業外収益	43,777
営業外費用	95,467
経常利益	55,485
特別利益	—
特別損失	62,252
税金等調整前当期純損失	△6,767
法人税、住民税及び事業税	110,151
法人税等調整額	△12,387
法人税等合計	97,763
当期純損失	△104,530
親会社株主に帰属する当期純損失	△104,530

トピックス

「NADIA」のブランディング、マーケティング強化



NADIA
SINCE 1942

現在、当社オリジナルブランドである「NADIA」のブランディング、マーケティング強化を進めております。

コンセプトは「オーガニックラグジュアリー」。メインターゲットを40～50代の女性とした日本発のハイエンドブランドを目指しております。

インスタグラム（#nadia_organicgem）を2019年12月に立上げ、以降継続的に情報発信を行っております。また2020年5月には、当社コーポレートサイトに掲載しておりました「NADIA」ページを独立のサイト（<https://nadiajewelry>）に移管し、「NADIA」の世界観をお伝えしております。

当社は、消費者から信頼されるジュエリー業界のトータルマーケティングとして企業努力を重ねてまいります。

会社概要 （令和2年3月31日現在）

社名	株式会社ナガホリ NAGAHORI CORPORATION
本社	〒110-8546 東京都台東区上野一丁目15番3号 TEL 03-3832-8266
設立	昭和37年
資本金	53億2,396万円
グループ事業内容	貴金属・宝飾品等の輸出入、製造加工および国内・国外販売、貸ビル事業ならびに太陽光発電事業

■事業所

名称	所在地	電話番号
本社	東京都台東区	03-3832-8266
福岡	福岡市博多区	092-262-3001
大阪	大阪市中央区	06-6241-5691
アトリエドモバラ	千葉県茂原市	0475-34-5251

役員 （令和2年6月26日現在）

代表取締役社長	長堀慶太
常務取締役	吾郷雅文（昇任）
取締役	白川文彦
取締役	川村忠男
取締役（社外）	富樫直記
常勤監査役（社外）	篠原繁
監査役（社外）	佐藤亮輔
監査役（社外）	岩上和道
会計監査人	監査法人 日本橋事務所